

第15回通常総会開催 ～ 「急速に変化する時代」を切り開くために ～

弊組合は、NGPグループ創立から33年、協同組合としては16年目を迎えます。

本通常総会で佐藤理事長は、創立33年を迎えられた感謝を示すとともに、急速に変化している時代を切り開くためには、その変化を受け入れ今までの考え方を変えていかなければならないと、将来を見据えた強い想いを述べました。

2018年10月4日、日本を代表する企業のトヨタとソフトバンクが「移動体」や「乗り物」を意味する「モビリティ」という言葉を使い、未来の交通サービスの実現に向けた提携を明らかにしました。自動運転の車など、次世代の車の開発を進めるトヨタ、そこに、ソフトバンクのIT技術を融合させ世界的な競争に生き残ることが狙いです。

いま、自動車産業では「CASE」に代表される様々な技術やサービスが生まれており、1社ですべての開発をまかなうのが難しい中、国境を越えて、各社が網の目のように提携関係を結び、しのぎを削っています。そのような中で、次世代の自動車産業の覇権はもはや、ハードを提供する車の会社ではなく、テクノロジー企業が覇権を握る可能性があり、2つの大企業が手を組んだ今回の提携は、車の生産だけでは競争に勝ち残れないというトヨタの強い危機感が背景にあるといわれています。

佐藤理事長は、「時代が変化していく中でも忘れてはいけないのは、“お客様第一”というNGPの理念だ。お客様に必要とされ、頼りにして頂ける存在であり続け、組合員が各地域でNo.1の事業者になることがNGPの将来の目指す姿だ」と述べています。

このような状況があるからこそ、我々も強い危機感をもって、組合員個社だけの対応ではなく、NGPグループの総力を結集し、スケールメリットを活かした戦略立案と実行が重要と考えております。

本年度は、我々の事業の柱である「国内部品販売・海外部品販売・素材販売」この3つの事業基盤を更に強固なものにするために、車両の確保が必要不可欠であると考えております。そのための一つの施策として、一般カーユーザーからの車買取サービス「廃車王」を、引き続き強化していきます。今の世の中多様なメディアがあふれる中で、ユーザーがどのメディアに接触するかわかりません。様々なメディアへの露出、PR施策を検討し、「廃車といえば廃車王」を認知するための活動を継続していきます。

また、「SDGs」に基づいた社会、経済、環境の発展に貢献するための活動を推し進めていきます。我々は「SDGs」が目指す、この世界のあるべき姿を、2030年までに達成するために、自動車リサイクル事業を通じて未来のために今できることをコツコツと積み重ねていくことが大切であると考えています。そのための一つの取組として、香川県豊島の産業廃棄物不法投棄により失われた自然を取り戻すべく、環境再生活動を積極的に行い、環境保全の大切さを後世に伝える活動を継続し続けたいと考えています。

目まぐるしく変化していく事業環境の中、創立者である大石一彦氏が掲げた三大信条「お客様第一」の理念に基づき、諸先輩方が作り上げたNGPグループを、より強固なグループに発展させる為に、全組合員が一致団結し新たな時代を切り拓いて参りたいと考えています。

以上

～ 詳細については NGP総務広報委員会 担当 まで ～

NGP

 日本自動車リサイクル事業協同組合

URL <https://www.ngp.gr.jp>

NGP協同組合事務局 〒108-0074 東京都港区高輪3-25-33 長田ビル2F

TEL 03-5475-1208 FAX 03-5475-1209

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-33 長田ビル2F

TEL 03-5475-1200 FAX 03-5475-1201